

無事故の完成評価

路面補修工事現場で 佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は2月27日、栃木県小山市で施工する「R1国分寺管内路面補修他(その3)工事」の現場で安全パトロールを実施し、安全衛生管理態勢や適切な労働時間と勤務体制などを確認したII写真。建設業年度末労働災害防止強調月間に合わせ



池田政人支店長、小山内徳雄部長、橋本秀浩工事部長、五十嵐健一安全環境部部长、秋本延保栃木営業所長らが参加した。

新4号国道の栃木県小山市

中久喜地先および鉢形地先において、経年劣化に伴う舗装や排水設備の補修を夜間で実施する工事で、発注者は関東地方整備局宇都宮国道事務所。車線数は4―6車線であり、交通量は1日約6万台と多くの車両が通行している。

工事概要や工事で苦勞した事例、夜間工事における施工の安全対策や現場環境改善などの創意工夫事例などを確認した。また、現場では舗装の平坦性結果などの説明を受け、発注者が要求する出来形基準を十分満足する完成品であることを確認した。

そのため、工事期間中一般車両との接触事故が懸念されることから対策を急に工夫して実施することで、品質に優れた道路を無事故・無災害で完成させることを目標とした。工期は2019年8月19日から20年3月10日。

石井社長は「現道規制を伴う夜間の舗装工事だったが、一般車両からのもらい事故を防止するためさまざまな対策が取られ、無事故で完成したことは評価できる。このような創意工夫を全国に展開し、事故防止につなげていきたい」と講評した。

パトロールでは、工事責任者の志賀一夫監理技術者から

